

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第3期府中町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

広島県安芸郡府中町

3 地域再生計画の区域

広島県安芸郡府中町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は住民基本台帳によると2022年6月の53,009人をピークに、減少に転じ、2025年11月には51,890人となっている。国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には総人口が47,273人まで減少することが予測されている。年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は1980年の12,440人をピークに減少し、2020年には7,520人となる一方、老年人口（65歳以上）は1980年の2,880人から2020年には12,520人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も1995年の35,964人をピークに減少傾向にあり、2020年には30,651人となっている。本町の自然動態をみると、出生数は1998年の675人をピークに減少傾向にあり、2023年には447人となっている。その一方で、死亡数は2022年から出生数を上回り、2023年には558人と増加傾向にあり、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲111人の自然減となっている。

社会動態をみると、2021年には転入者（3,037人）が転出者（2,251人）を上回る社会増（786人）であった。しかし、転勤等の仕事上の都合や住宅事情を理由とした20歳から30歳前後の子育て世代とその子どもの世代を中心に町外への転出者が増加し、2023年には▲132人の社会減となっている。このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

人口減少と少子高齢化の進行は、地域社会において担い手の不足や活力の減退を引き起こし、住民生活に様々な影響を及ぼすなど、地域における課題は多様化することが懸念される。

これらの課題に対応するため、本計画において次の基本目標を掲げ、その実現に向けて、住民一人ひとりに寄り添った政策を展開することにより、「みんなの「暮らしたい」がかなうまち」をつくり上げていく。

- ・基本目標 1 とともに支えあい 健やかに 「暮らしたい」
- ・基本目標 2 とともに学び 今も未来も幸せに 「暮らしたい」
- ・基本目標 3 つながりを深め 豊かに 「暮らしたい」
- ・基本目標 4 安全なまちで 安心して 「暮らしたい」
- ・基本目標 5 いつも心地よく 便利に 「暮らしたい」
- ・基本目標 6 みんなの 「暮らしたい」 を支える

【数値目標】

| 5-2の ①に掲げ る事業 | K P I | 現状値 (計画開始時点) | 目標値 (2030年度) | 達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標 |
|---------------------|---|-----------------|-----------------|-----------------------------|
| ア | 相談から支援に繋がった 人の割合 | 91.6% | 100% | 基本目標 1 |
| ア | 地域活動等に自主的に参 加する高齢者の割合※高 齢者いきいき活動ポイン ト事業に参加する65歳以 上の割合 | 30.9% | 45.0% | 基本目標 1 |
| ア | 外出や余暇活動等により 社会参加をする障がい者 の人数※移動支援の申請 | 153人 | 168人 | 基本目標 1 |

| | | | | |
|---|--|----------------------|----------|--------|
| | 者数 | | | |
| ア | この地域で今後も子育てをしていきたい人の割合 | 98.4% | 99.0% | 基本目標 1 |
| ア | 通園により家庭以外と関わりをもつ未就園児の割合※保育園等及び乳児等通園支援事業の入所（登録）者数 | 45.2% | 47.7% | 基本目標 1 |
| ア | 健康づくりへの参加人数 ※健康マイレージ制度アプリの登録者数 | 2,251人 | 3,300人 | 基本目標 1 |
| イ | 「勉強は好き」と思う児童生徒の割合※全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査 | 小学校64.9% 中学校65.3% | 広島県平均以上 | 基本目標 2 |
| イ | 「将来の夢や目標を持っている」と答える児童生徒の割合※全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査 | 小学校85.5% 中学校68.9% | 広島県平均以上 | 基本目標 2 |
| イ | 公民館・図書館利用者数 | 120,284人 | 130,000人 | 基本目標 2 |
| イ | 体育施設利用者数 | 449,338人 | 450,000人 | 基本目標 2 |
| イ | 「自分の住んでいる地域のことが好きです」と答える児童生徒の割合※広島県児童生徒学習意識等調査 | 小学校96.2% 中学校89.3% | 広島県平均以上 | 基本目標 2 |
| イ | 歴史・文化財に関する啓発活動回数 | 23回 | 33回 | 基本目標 2 |

| | | | | |
|---|---|----------------------|---------|--------|
| イ | 施策(事務事業総括)進捗率 | - | 100% | 基本目標 2 |
| イ | 「学校に行くのは楽しい」と答える児童生徒の割合※全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査 | 小学校89.6% 中学校90.7% | 広島県平均以上 | 基本目標 2 |
| ウ | 町内会加入促進のイベント満足度 | - | 85.0% | 基本目標 3 |
| ウ | 町内事業者のイベント出展件数※商工会・観光協会を通じてイベント出展した件数 | 25件 | 31件 | 基本目標 3 |
| ウ | 啓発活動の参加者数 | 7,265人 | 7,800人 | 基本目標 3 |
| ウ | 温室効果ガス排出量削減率 | 27.1% | 46.0% | 基本目標 3 |
| ウ | 水分峡森林公園来園者数 | 83,694人 | 87,000人 | 基本目標 3 |
| ウ | 一人一日あたりのごみの排出量 | 736 g | 716 g | 基本目標 3 |
| ウ | 環境ボランティアの団体数 | 20団体 | 25団体 | 基本目標 3 |
| ウ | 水洗化率 | 94.8% | 96.0% | 基本目標 3 |
| エ | 備蓄品の計画数量に対する充足率 | 93.2% | 100% | 基本目標 4 |
| エ | 災害対策を実施した箇所数 ※広島県・府中町施行対策工事箇所数+補助件数 ※住環境改善事業の災害 | 4箇所 | 19箇所 | 基本目標 4 |

| | | | | |
|---|-----------------------------|----------|-----------|-------|
| | 対策件数を含む | | | |
| エ | 浸水被害対象家屋数 | 0戸 | 0戸 | 基本目標4 |
| エ | 防災士と連携して実施する活動回数 | 0回 | 10回 | 基本目標4 |
| エ | 啓発活動参加者数 | 397人 | 491人 | 基本目標4 |
| エ | 防火に関する啓発人数 | - | 15,000人/年 | 基本目標4 |
| エ | 消防隊員の訓練回数 | - | 250回 | 基本目標4 |
| エ | 救命救急士搭乗率 | 100% | 100% | 基本目標4 |
| オ | 居住誘導区域内の人口密度 | 94.7人/ha | 95.0人/ha | 基本目標5 |
| オ | 交通結節点におけるつばきバス乗降者数(推計値) | 50,000人 | 62,000人 | 基本目標5 |
| オ | 整備進捗率 (計画期間における都市計画施設整備) | 0% | 70% | 基本目標5 |
| オ | 新設・大規模改修した公園・広場の箇所数 | 0箇所 | 2箇所 | 基本目標5 |
| オ | 整備進捗率 (計画期間における生活基盤施設改修) | 0% | 50% | 基本目標5 |
| オ | 拡幅整備を行った町道の延長(累計) | 212m | 1,696m | 基本目標5 |
| オ | 新設住宅の着工戸数(累計) | 328戸 | 1,800戸 | 基本目標5 |
| カ | 府中町の認知度(広島県内居住者Webアンケート) | 62.4% | 67.0% | 基本目標6 |
| カ | 平和に関する情報発信回数(計画期間中の累計) | 13回 | 26回 | 基本目標6 |
| カ | 単位施策目標の達成率 | - | 50% | 基本目標6 |

| | | | | |
|---|--------------------------------------|---------|-----------|-------|
| カ | 電子申請の利用割合 | 35.4% | 40.0% | 基本目標6 |
| カ | SNSの合計登録者数（累計） ※LINE・Instagramの合計 | 11,224人 | 13,000人 | 基本目標6 |
| カ | 町税（現年分＋滞納繰越分）収納率 | - | 99.0%以上 | 基本目標6 |
| カ | ふるさと応援寄付金の獲得 | - | 1,000万円以上 | 基本目標6 |
| カ | 実施計画期間中の改修実施箇所数 | - | 15施設 | 基本目標6 |
| カ | 公有財産の活用事例数（計画期間中の累計） | - | 4事例 | 基本目標6 |
| カ | 庁内部処理の電子化率 | 45.9% | 52.7% | 基本目標6 |

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第3期府中町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア とともに支えあい 健やかに 「暮らしたい」を推進する事業

イ とともに学び 今も未来も幸せに 「暮らしたい」を推進する事業

ウ つながりを深め 豊かに 「暮らしたい」を推進する事業

エ 安全なまちで 安心して 「暮らしたい」を推進する事業

オ いつも心地よく 便利に 「暮らしたい」を推進する事業

カ みんなの 「暮らしたい」を支えるを推進する事業

② 事業の内容

ア とともに支えあい 健やかに 「暮らしたい」を推進する事業

●年齢や障がい等に関係なくさまざまな人がともに支えあい、社会に参加することで、すべての住民が健やかで心豊かに暮らせるまちづくりを推進する事業

●家庭と地域、行政が手を取り合い、次世代を担う子ども、若者が幸福な暮らしの中で成長し、自らの人生を決定して生きていける環境を確保する事業

【具体的な事業】

- ・全世代に対する相談支援・生活支援の充実と居場所づくり
- ・高齢者福祉の充実
- ・障がい者福祉の充実
- ・こども・若者の健やかな成長を支える環境づくり
- ・子育て家庭を支える環境づくり
- ・ライフステージに応じた健康づくり 等

イ とともに学び 今も未来も幸せに 「暮らしたい」を推進する事業

●次世代を担う子どもたちが未来の社会の創り手となれるよう、生きる力を育む学校教育の充実を図る事業

●歴史・文化、芸術、スポーツ等にいつでも身近に触れ、親しみ、すべての人が生涯を通じて学び続けることができる環境づくりを推進する事業

●学校・家庭・地域が連携、協働することで、コミュニティの循環を生み出す事業

●誰もが安全安心に学び、集うことのできる質の高い教育環境を整備する事業

【具体的な事業】

- ・「確かな学力」の育成
- ・「豊かな心」と「健やかな体」の育成
- ・生活に彩りを添える学びの環境づくり
- ・スポーツに親しむ環境づくり
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

- ・歴史を身近に感じる機会の創出と文化財の適切な保存・活用
- ・教育施設・設備の整備
- ・教育体制の充実 等

ウ つながりを深め 豊かに 「暮らしたい」を推進する事業

- 住民同士のつながりを深め、地域で支えあうことのできる環境づくりを推進する事業
- 住民・事業者・行政が力を合わせて工夫することで、まちの魅力と賑わいを創出する事業
- 美しく恵み豊かな環境を次世代に継承するため、地域との協働により持続可能な環境の保全と創造に取り組む事業

【具体的な事業】

- ・地域コミュニティの活性化
- ・商工業の活性化
- ・人権の尊重と男女共同参画社会の推進
- ・ゼロカーボンシティの実現
- ・豊かな自然環境との共生
- ・循環型社会の形成
- ・地域協働による環境づくりの推進
- ・快適で質の高い生活環境の保全 等

エ 安全なまちで 安心して 「暮らしたい」を推進する事業

- 今後発生が予想される大規模な自然災害に備え、自助・共助・公助により被害を最小限に抑え、災害による犠牲者を出さない体制づくりを推進する事業
- 自然災害を未然に防止するための対策を着実に実施することで、災害に強いまちづくりを推進する事業
- 救急需要の増加に対応するとともに、火災や多様化する犯罪から住民を守ることで、誰もが安心して暮らせる安全なまちづくりを推進する事業

【具体的な事業】

- ・防災体制の充実・強化

- ・市街地の土砂災害・地震対策
- ・市街地の浸水対策
- ・地域防災力の向上
- ・地域安全活動の推進
- ・火災予防体制の充実・強化
- ・消防体制の充実・強化
- ・救急体制の充実・強化 等

オ いつも心地よく 便利に 「暮らしたい」 を推進する事業

●コンパクトな当町の特徴を活かし、細部まで行き届いた心地よい住環境の整備を推進する事業

●都市基盤の着実な整備と適正な維持管理を推進し、より便利で暮らしやすい都市空間を創出する事業

【具体的な事業】

- ・集約型都市構造の形成
- ・移動の円滑化
- ・計画的な都市施設の整備
- ・公園の充実
- ・生活基盤施設の保全
- ・生活道路の整備
- ・快適な住まいづくりの促進 等

カ みんなの 「暮らしたい」 を支えるを推進する事業

●質の高い行政サービスの提供やまちの魅力向上などを通じて、すべての世代が「暮らし続けたい」「戻ってきたい」「暮らしてみたい」と感じられるまちづくりを推進する事業

●安定的で効率的な自治体運営を行うとともに、住民の暮らしに寄り添い、将来にわたって支え続けることができる行政を確立する事業

【具体的な事業】

- ・地域ブランド力の向上と発信
- ・平和行政の展開
- ・総合的なまちづくりの推進

- ・デジタルトランスフォーメーション（DX）による行政サービスの向上
- ・広報広聴の充実
- ・財政基盤の安定化
- ・公共施設の適切な管理
- ・公有財産の有効活用
- ・持続可能性を高める職員づくり・組織づくり 等

※ なお、詳細は第3期府中町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

5,750,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度10月頃に外部有識者が参画した「府中町まち・ひと・しごと創生有識者会議」において評価を受け、必要に応じて事業の見直しを行う。評価後は、速やかに評価結果を町ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで